

「豊かな心で未来に向かって生きる生徒の育成」 ～しなやかな心を育成する道徳教育の充実～

I 研究の内容

1 研究部会

(1) 教科別研究部会

- ・生きる力を育むために必要な思考力・判断力・表現力を養い、確かな学力を育成する授業づくりの研究
- ・道徳教育と各教科の目標、内容及び教材を関連づけた授業研究

(2) 道徳教育部会

ア 第1分科会「授業研究」

- ・道徳の時間の授業改善、教材の開発などを研究

イ 第2分科会「学校生活」

- ・授業以外の学校生活の中での道徳教育について研究
- ・生徒に道徳的価値を意識させる環境作りの研究
- ・道徳教育と各月の生活目標を関連づけた授業研究

ウ 第3部会「家庭・地域との連携」

- ・家庭、地域の方の参加による授業研究（道徳授業地区公開講座）
- ・学校、家庭、地域が一体となって行う道徳教育の発信方法の研究

II 成果と課題

1 道徳授業研究会の実施概要

- | | | | |
|------|-----------|-------------|----------|
| ・実施日 | 10月22日（水） | プレ授業による授業研究 | 3年4組 |
| | 10月24日（金） | 初任者研修の師範授業 | 3年2組 |
| | 1月16日（金） | 公開授業による授業研究 | 1・2年4クラス |

2 道徳の時間の充実

- (1) 各学年の道徳の重点目標を明確にした。
- (2) 「私たちの道徳」の内容を確認し、全てのページを各学年に振り分けた。また、道徳の授業で利用する場面を設定するように指導計画の見直しをした。
- (3) 各学年の生徒の実態を調査し、重点項目を検討した。
- (4) これまでに使用した教材を共有し、誰でも活用できるように整備した。
- (5) 道徳の時間の学習の中心である「道徳的価値の自覚を深める」ために生徒が価値についてじっくりと考える時間を作った。

3 地域に根ざした道徳的実践活動の推進

(1) 道徳的実践活動の内容及び実施学年

全校 生徒総会・学園祭・強歩大会・有価物回収・芸術鑑賞・愛好作業など

1年 スキー教室など

2年 宿泊学習・職場体験・福祉講話・進路学習会など

3年 修学旅行・進路学習会・福祉講話など

(2) 保護者,地域への道徳の授業公開日

10月22日〔プレ授業研究〕 1月16日〔公開授業研究〕

(3) 家庭・地域と連携した取組体制と活動の概要

・地域の人の参加や協力を得た学習を行った。

有価物回収(10月18日)

保育実習(10月25日・30日, 11月6日・14日)

職場訪問(8月20日～8月22日)

強歩大会(11月5日)

・地域の行事へ参加した。

各地域における伝統行事及び地域清掃への参加

・地域の方と交流した。

ボランティア活動

・ゲストティーチャーを招いた学習を行った。

職業講話 講師 土橋久忠さん(山梨学院大学)(6月19日)

P T A講演会「しなやかな心の育成」講師 小嶋優キャスター(10月31日)

福祉講話 講師 車いす生活者・盲導犬ユーザー・保健師

(11月27日・12月3日・12月9日)

芸術鑑賞 和太鼓演奏 ARAKAN (3月6日)

今年度は、「やまなし」道徳教育推進校事業の指定2年目ということで、昨年の研究をさらに深めることができた。年間2回の指導主事を招聘しての学習会、公開研究授業の指導案検討、6クラスの研究授業など充実した研究を行うことができた。田中一弘指導主事には専門的な見地から研究の方向性を指摘し、指導して頂き、道徳教育や授業について大変勉強になった。公開授業は各学年の実態に沿ったもので、学年での指導案検討を経て全体での検討を行い十分な話し合いが持てた。

道徳教育部会の各分科会の研究において、昨年よりも一歩進んだ研究を行うことができたが、授業以外の学校生活の中でどのようなことに取り組んでいくかの研究が中途半端に終わってしまったので、来年度の課題である。

また、道徳性検査の結果の検証を引き続き行うとともに、今までの授業で得た道徳的実践力(実践できるための内面的資質)を道徳的実践(道徳的行為)にどう結びつけていくのかを研究していきたい。

III 成果物

道徳指導案(1年・2年・3年)

道徳性検査

自学の時間

(研究主任 小林紀子)